地域の活性化に向けた
宮沢根白石線連坊小路
高架下エリア利活用方法の検証

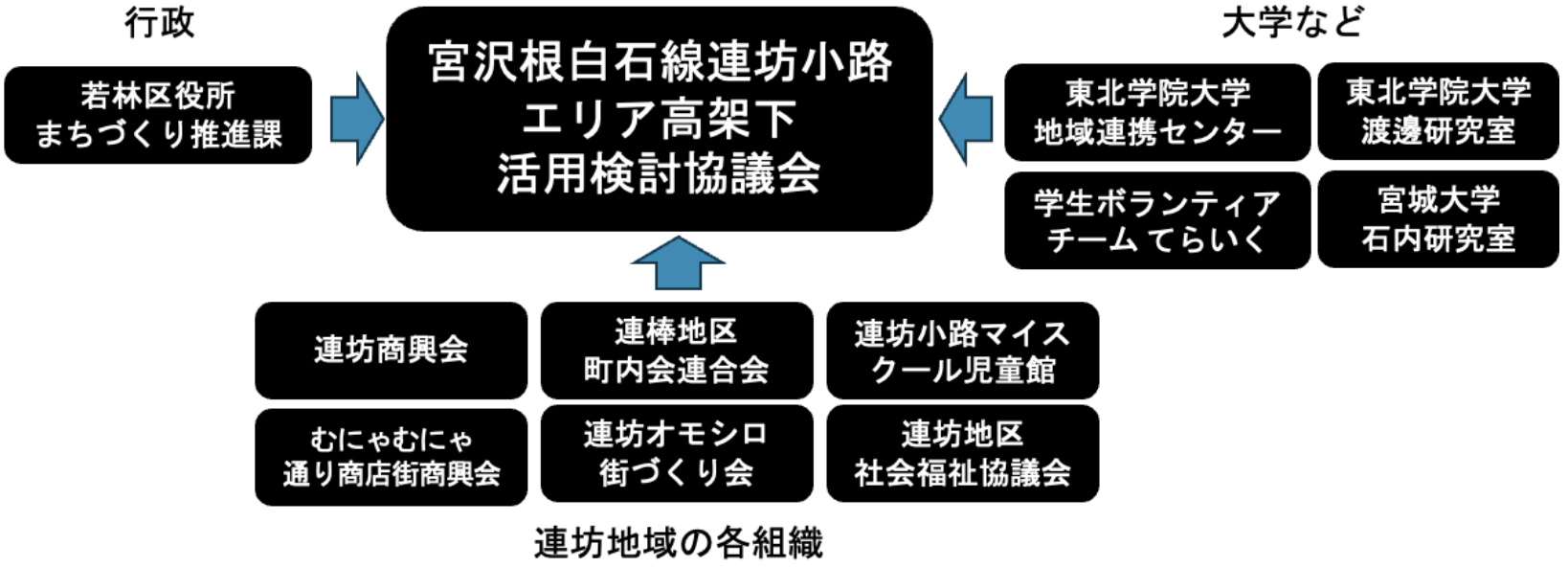
宮沢根白石線連坊小路エリア高架下活用検討協議会

1　事業実施団体について

事業実施団体の概要

- 団体の目的
  仙台都市道路「宮沢根白石線」連坊小路エリアの道路高架下空間について地域の活性化に向けた“地域資源”としての利活用方法の検討
- 組織の構成
  連坊地域に関わりのある諸組織の連携のもとに協議会の組織

＜組織図＞



2　令和７年度事業の実施内容

（１）課題

(1)道路高架下の利活用に向けた住民アンケートの実施（2023年8月～9月末・n=164）

＜利活用に対する地域住民希望（上位４位）※＞

- 子どもの遊び場（60件）/マルシェ・フリマ（58件）/地域の防災倉庫（53件）
  運動などに使えるフリースペース（52件）

(2)連坊商興会へのヒアリング

- 同商興会所属の個人店には来客用の駐車場の整備が十分でない

地域の活性化に向けて道路高架下という
“地域資源”の利活用を検討する必要がある

（２）事業の目的

＜最終的な目標＞

連坊地域の活性化に向けた利活用

＜事業の目的＞

連坊地域の住民、地縁組織、商店街、近隣教育機関などの連坊地域に関わるステークホルダーの**連携**により地域活性化に向けた**道路高架下エリアの効果的な利活用方法を検討すること**

２　令和７年度事業の実施内容

（３）令和７年度事業の目標

- 高架下利活用協議会運営会議の実施（全12回）
- 事業（1）
  駐車場利用実験とそこでの利用者アンケートの実施（10名）
- 事業（2）
  高架下を会場としたイベントの実施（年4回）
- 事業（3）
  高架下でのアートイベントの実施（年1回）

※事業（2）、事業（3）での参加者及び関係者へのアンケートの実施

2　令和7年度の実施内容

（３）令和7年度事業の目標と実績

■ 高架下利活用協議会運営会議の実施（全12回）

：月1回の開催として、各部会による取り組みに関する進捗状況報告や地域向けの情報発信としての「協議会通信」の取りまとめ等、各部会長が出席する協議会会議を実施

5/28、6/23、7/31、8/26、9/30、10/6、11/5、12/16、1/28、2/16、3/24

■ 事業（1）：　駐車場利用実験とそこでの利用者アンケートの実施（10名）

：若林区道路課と道路占用申請に向けた協議を行い社会実験を実施

時間貸想定　→　2025年12月15日～12月26日

月極想定　→　2026年１月19日～1月31日

■ 事業（2）：　高架下を会場としたイベントの実施（年4回）

：連坊地域内の住民を対象としたものから仙台市内外までも対象とするイベントを5回実施

■ 事業（3）：　高架下でのアートイベントの実施（年1回）

：光を使用したインスタレーションイベントとして2026年１月28日に実施

「本事業においては、地域にとって初めての取り組みも多数行われることとなりますので、地域全体の十分な理解を得られるよう、説明や協議を入念に行ってください。」

地域住民向けの「協議会通信」の発行による情報の共有

2　令和7年度の実施内容

（４）事業の実施体制

■ 事業の実施体制（申請書より）

氏名	団体における役職等	この事業における役割
野崎治朗	会長・イベント部会長	全体の総括、イベント部会の総括
佐竹伸彦	副会長・アート部会長	アート部会の総括
黒田稔昌	副会長・駐車場部会長	駐車場部会の総括
千葉隆夫	庶務・防災部会長	防災部会の総括
佐藤のりみ	委員・監事	監事
坂本泰伸	委員・監事	監事
石内鉄平	委員	各種調査、実験結果の検証
渡邊圭	委員	各種調査、実験結果の検証

※申請後に連合町内会役員の変更に伴い会長の変更

■ 各作業部会について

協議会
- イベント部会 → 高架下でのイベントの企画
- アート部会 → 高架下での地域アートイベントの企画
- 駐車場部会 → 駐車場利活用に向けた検討
- 防災部会 → 地域防災推進に向けての検討

2　令和7年度の実施内容

（５）事業スケジュールについて

＜2025年＞
・8月10日　イベントの実施①
　RENBOWLINKFES＋MUSIC
・10月5日　駐車可能台数の確認
・10月22日　イベントの実施②
　キッチンカー祭りとチャリティバザー
・11月8日　イベントの実施③
　高架下芋煮会
・12月15日～12月26日　駐車場実験①
　時間貸し想定の駐車場賃借試験

＜2026年＞
・1月19日～31日　駐車場実験②
　月極想定の駐車場賃借試験
・1月28日　アートイベント
　光のインスタレーションイベント
・2月10日　イベントの実施④
　パンフェス（キッチンカー、地元商店の出店）
・3月22日　イベントの実施⑤
　RENBOWLINKFES

（６）使用経費について

◯事業収支

- 事業費総額　338,344円
  - ・仙台市助成金　304,000円
  - ・団体自己資金　34,344円

- 支出内訳
  - ・消耗品費　150,200円（135.180円）
    　：のぼり旗など
  - ・印刷製本費　99,344円（89.410円）
    　：イベントチラシ・ポスター
  - ・通信運搬費　3,890円(3.501円)
    　：切手、レターパック
  - ・賃借料　30,000円（27,000円）
    　：イベントチラシ・ポスター
  - ・その他経費　54,910円（49,419円）
    　：イベント保険代

- 支出計：338,344円

3　実施した取り組みの紹介

（1）協議会会議の実施

付帯意見「**スペースの利活用方法について、駐車場とイベントスペースの住み分けや活用をどのように行うのか、事業の中間報告時に整理して報告してください。**」への対応時にも報告のとおり、高架下空間対応の占用方法や場所等の協議、各作業部会の進捗状況の確認のために月1回の協議会会議の実施

　また、同会議には、若林区まちづくり推進部、若林区道路課の各担当者にもオブザーバー出席をいただいており、使用にアタっての占用申請に向けたコメント等を頂戴している。

→ 現在も月1ペースで実施している。

第1回	5月28日	仙台市助成金の手続き状況 各部会の実施状況報告,協議会通信の作成
第2回	6月23日	若林区道路課との打ち合わせ経過報告 各部会の実施状況報告
第3回	7月31日	8月実施イベントの概要報告
第4回	8月26日	イベント結果報告
第5回	9月30日	アート部会のイベント概要の説明
第6回	10月6日	メール審議にてイベント等の準備状況の確認
第7回	11月5日	助成事業中間報告会の結果報告
第8回	12月16日	イベント部会実施報告 駐車場実験報告,協議会通信の作成
第9回	1月28日	駐車場実験報告
第11回	2月16日	各部会報告 若林区道路課との打ち合わせに向けた資料確認
第12回	3月24日	次年度の方向性についての確認

３　実施した取り組みの紹介

（２）駐車場利用実験

①時間貸パターン：2025年12月15日～12月26日

＊アンケートへの回答5名

→　使いやすい：4件、どちらとも言えない：1件

→　有料でも利用する：1件、店舗利用で割引になるなら使う：4件

→　現金払：3件、キャッシュレス払：2件

＜利用者コメント＞

・連坊橋高架下から遠藤八百屋迄歩くと、1分50秒くらいでした。**駐車禁止の罰金を思えば、安心してとっても良いです**。とても良いでないのは、慣れてないから。

・無料開放だと不正駐車が増えるので、**基本は有料にし、商店街利用で割引券などを配布すれば商店街利用も増えて良いと思います。**非常に利用しやすかったです。

３　実施した取り組みの紹介

（２）駐車場利用実験

②月極パターン：2026年１月19日～1月31日

＊参加者5名へのアンケート回答

→ 毎日利用：3件、週１回：1件、利用したいけどできなかった：1件

→ 使いやすい：3件、どちらとも言えない：1件、使いづらい：1件

→ 無償でなければ利用しない：2件
　10,000円未満であれば利用は考える：3件

→ 現金払：3件、キャッシュレス払：2件

＜使いづらい理由＞

・出入庫の際に車を脇に停めてダイヤルを合わせる手間が面倒だった。ロープが解けて結び直した。夜は暗いので傷をつけられたり、利用者以外の人が自由に入って、車の影で飲食してゴミをそのままにするかもしれないと心配だったので昼間だけ停めた。

3　実施した取り組みの紹介

（3）イベントの開催

実施イベント	実施日時	内容
RENBOWLINKFES+MUSIC	2025年8月10日	・キッチンカー、ハンドメイド出店 ・音楽ステージイベントの実施
キッチンカーとチャリティバザー	2025年10月22日	・キッチンカー出店 ・バザーの実施
高架下芋煮会	2026年11月8日	・近隣住民や児童館の子ども向けの芋煮会の開催
パンフェス	2026年2月10日	・キッチンカー出店 ・近隣商店街の出店
RENBOWLINKFES	2026年3月22日	・キッチンカー出店 ・子ども向けワークショップの実施










３　実施した取り組みの紹介

（３）イベントの開催

〇参加者へのWEBアンケートの実施（n=67）

:回答者の属性
- 年代：～14未満（5名）、20代（11名）、30代（14名）、40代（5名）、50代（9名）、60代（9名）、70代（14名）
- 性別：女性（41名）、男性（25名）、指定しない（1名）
- 住まいの地区：連坊地区内（37名）、若林区内（9名）、仙台市内（17名）、仙台市外の地域（3名）、宮城県外（1名）

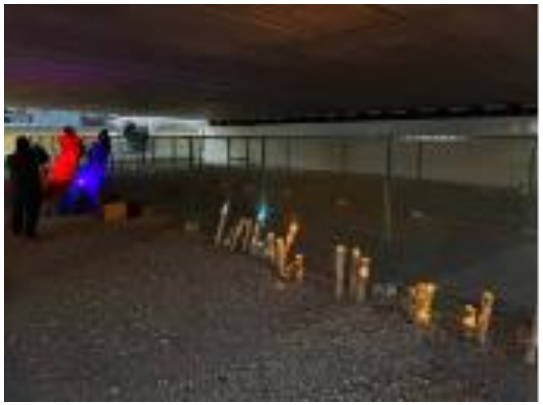
:イベントの満足度
とても楽しめた（30件）、楽しめた（34件）、どちらとも言えない（3件）

：今後の高架下イベントへ参加したいと思うか
とても思う（40件）、思う（23件）、どちらとも言えない（3件）、まったく思わない（1件）

３　実施した取り組みの紹介

（４）アートイベントの開催

〇地域アートについては、実施に際してアート部会の部会長及び、メンバーが怪我や体調不良のために入院することとなった。
そのため、当初に部会が想定していた内容・規模を縮小する形で光を使用したインスタレーションイベントとして実施。





東北学院大学情報学部データサイエンス学科菅原研研究室の協力を得て橋桁へのプロジェクションマッピングの実施を予定していたが、景観条例への抵触の可能性があることがわかった。今後、高架下空間を利用してアートイベントの実施するにあたり各種の条例の確認が必要となることが明らとなった。

３　実施した取り組みの紹介

（５）防災拠点部会の取り組み

〇高架下空間を利用して、近隣町内会の住民も交えて高架下空間を利用した
　防災教育プログラムの実施の可能性についての検討を行った。







４　事業の成果と今後の展開

事業の成果と今後の展開について

１．事業の成果

：連坊地域の新たな**地域資源**としての道路高架下という地域資源の活用の可能性

①コミュニティ駐車場

②コミュニティイベントの開催場所

※それぞれが**高い公共性を有している**ことが求められる

２．今後の展開

：継続的なイベントの開催

：コミュニティ駐車場としての実験の継続

３．地域資源の活用に向けて

：地域と並走する**ファシリテーター**の重要性（**notコンサルタント**）

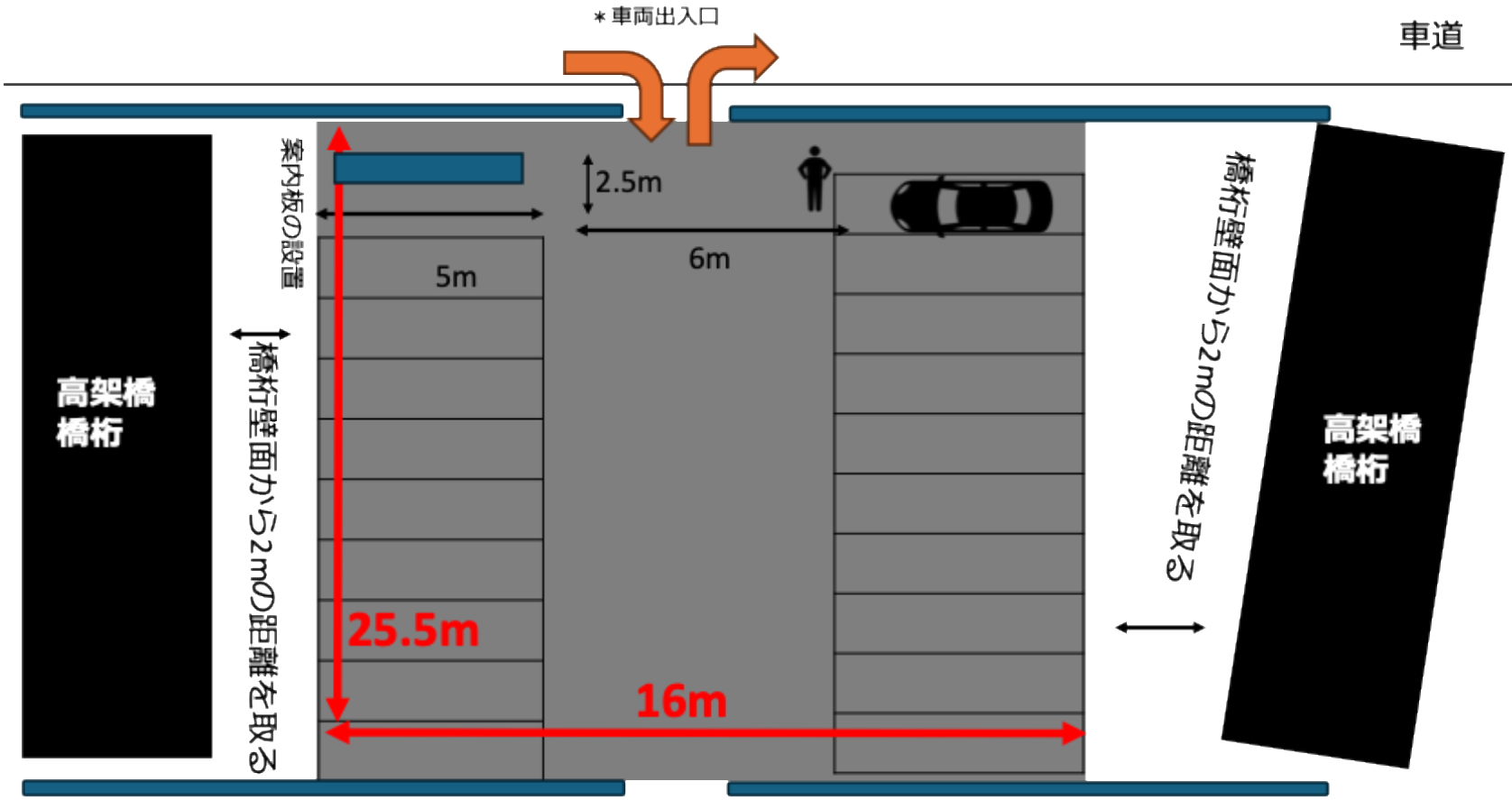
参考：2026年実施のイベント
＊一部紹介







参考：駐車場利用イメージ
＊占用許可申請書より抜粋



謝 辞

高架下利活用の検証（イベント、現車確認など）にかかる手続きでは、若林区建設部道路課道路管理係の皆様のご支援をいただいております。

また、本協議会の設置より同区まちづくり推進部地域力担当課の皆様にもご支援をうけております。

ここに記して謝意を示させていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

本助成事業に関する問い合わせ
e239911007@g.tohoku-gakuin.ac.jp